

平成30年度  
社会福祉法人  
昭寿会  
事業報告書

平成30年4月1日

）

平成31年3月31日

目次	頁	目次	頁
法人本部	1	就労継続支援B型事業所 わいわい	29
1. 年度重点的取り組み（総括）	1	1. 年度重点目標の達成状況	29
2. 重点目標報告	1	2. 利用者様支援	29
（1）経理	1	（1）就労継続支援	29
（2）器具備品、不動産等の管理	1	（2）生活支援	29
（3）人材育成と確保及び定着	2	（3）就労支援	29
（4）福祉サービス事業の新規事業の開設	3	（4）相談及び援助	29
（5）各事業所利用者様への支援方法の見直し	3	（5）食事の提供	32
3. 法人実施事業	4	（6）健康管理	32
4. 評議員及び役員等	4	3. 建物・設備・備品等管理	32
5. 理事会・評議員会の開催状況	6	4. 年間行事計画	32
6. 寄付状況	7	5. 研修	32
7. 契約関係	7	生活介護事業所 わくわく	33
8. 申請、許可、認可及び承認に関する事項	7	1. 年度重点目標報告（総括）	33
9. 補助金、共同募金に関する事項	8	2. 利用者様支援内容	33
10. 定款変更について	8	（1）生活支援	33
11. 登記の状況	8	（2）生活訓練	33
12. 主務官庁指示に関する事項	9	（3）創作活動	33
13. 事業所別収入（前年度対比）	9	（4）食事の提供	33
14. 各事業所利用者様の状況	10	（5）健康管理	34
各事業所共通事項	16	3. 建物・設備・備品等管理計画	34
1. 苦情解決・虐待防止	16	4. 年間行事計画等	34
2. 食事提供サービス	17	5. 研修	34
3. 保健衛生	17	共同生活援助事業所 すみれハイツ	35
4. 防犯・防災	18	1. 年度重点目標報告	35
5. 福祉サービス自己評価	19	2. 支援内容	35
6. 広報・地域交流	20	（1）生活支援	35
7. 実習生受け入れ	21	（2）生活訓練	35
8. 家族支援	22	（3）地域生活援助	35
9. 車輻関係・安全運転管理	22	（4）健康管理	35
10. 設備管理	22	（5）食事の提供	35
11. 法人外研修	23	3. 建物・設備・備品等管理計画	35
障害者支援施設 あかしや寮	24	相談支援事業所 あかしや寮	36
1. 年度重点目標報告	24	1. 年度重点目標報告	36
2. 支援内容報告	24	2. 相談支援状況	36
（1）利用者様支援・入所支援	24	3. 計画相談実績	36
（2）健康管理	26	放課後等デイサービスキッズハウスピッピ	37
（3）食事介助等	26	1. 年度重点目標報告	37
3. 建物・設備・備品等管理計画	26	2. 支援活動状況	37
4. 年間行事	27	（1）生活面	37
5. 研修	27	（2）対人・社会面	37
短期入所事業	28	（3）運動面	38
日中一時支援事業	28	（4）創作活動	38

## 法人本部

### 1. 年度重点的取り組み（総括）

「サービスの質の向上」については、職員教育として基本となる個別支援計画の立案方法について、青森県の相談支援専門員研修等で講師を務めているエキスパートに依頼して、研修を行いました。今後も継続していく予定です。一人一人の職員が「気付き、考え、行動できる」ことでサービスの質の向上につながると考えています。

地域における公益的な取組では、地域の福祉的ニーズの把握や情報収集が十分ではなく、行えていない状況です。地域の住民に障害者福祉を啓蒙するために「昭壽会歳末大感謝祭」を実施しています。地域住民の冬の楽しみとなっていますが、マンネリ化することがないように、全事業所、全職員が一丸となり、法人事業の理解が得られるように取り組んでいきます。

人材の確保に困難をきわめ、常に現場における人材不足対応に追われています。また、不適切な利用者支援により、事故や苦情があり、業務の見直しと改善を進めています。

法人内の各事業の課題を洗い出し、対応していく予定でしたが、具体的に進めることはできませんでした。

### 2. 重点目標報告

#### （1）経理・労務・庶務

会計事務所の月次会計監査が1日で終わらないことがあり、月々の収支報告や資料の提出が遅れました。収支の状況を定期的に確認することができなかったことで、予算の見直しや執行状況の確認に支障が出ました。

請求業務は、過誤や返戻がありました。原因は受給者証の確認を怠り、区分の変更や認定期間の見落としをしたことにあります。利用者様の一覧を作成する等し、間違いのないようにしました。

外出泊や通所利用者様の欠席のケース記録や書類の提出がなかったことで、請求漏れが生じました。いずれも過誤調整をし、再請求をしました。書類等については、諸会議等で、規則通りに記録を提出することにしました。

職員勤怠管理等、給与に関しては、労務士事務所とスケジュールを調整して行いましたが、確認時間に余裕がありませんでした。

事務員の退職や業務内容の分担の見直しが遅れ、事務員間の連絡や報告がスムーズに行われず、効率良く、業務を進められませんでした。日常の業務対応に追われ、事務員の現任教育の実施は十分にできませんでした。事務部門の業務マニュアルの作成が必要と感じた年度でした。

職員の社会保険加入等各種手続きは、適宜行いましたが、社会保険労務士に委託できるものは委託し、迅速に対応したいと考えています。

#### （2）器具備品、不動産等の管理

利用者様が安心・安全な生活を送るために、保守点検・環境整備・建物設備を洗い出し、整備を行いました。

あかしや寮中・軽度棟側のアスファルト道路は、厨房への搬入路でもあり、グラウンドや作業場などに通ずる主要道路です。数年前から、凍害による亀裂がひどくなり、穴が多数できていました。利用者様も移用する

ため、転倒の危険性が増してきたため、予算計上し補修工事を行いました。同時に敷地内のアスファルト舗装している部分の亀裂補修も行ったため、当分は凍害による陥没は避けられるものと思われま

す。あかしや寮近辺で、小学生の腕を掴んだ不審者や施設前を大声を上げて車を走らせる人が出

没し、警察官のパトロールが増えています。法人としても、不審者対策として、敷地内を見渡せるように、予算計上していた見守りカメラを増設しました。

あかしや寮の居室や食堂、トイレなどの出入り口のペンキが剥がれており、塗り直しを行いました。ウッドデッキの防腐剤塗布は、今まで職員が行っていましたが、塗り方が悪かったのか、腐食している部分

が何か所かあるため、業者に依頼して防腐処理をしました。老朽化のためリフォームを計画していたグループホーム「すみれハイツ」は、隣接のグループホーム「クリス」に空き部屋があり、今後も新たな入居者は見込めないため、リフォームは見送りとしました。

生活介護事業所「わくわく」の1階トイレが、地面陥没によると思われる排水管損傷により、2月から使用不能となっています。家主に修理依頼していますが、年度を超しても使用不能です。

### (3) 人材育成と確保及び定着

#### 1) 人材育成

育成については、場当たりの研修実施に追われ、育成体系の構築には至りませんでした。

外部研修を希望する職員には、受講を許可していますが、申し出た職員は1～2名のみです。在職年数5年か社会福祉士、介護福祉士等試験合格者を指導職候補者として、相談支援専門員初任者研修及びサービス管理責任者資格取得研修に参加させています。

主任、副主任にある者には、全国知的障害関係施設長会議や福祉協会主催の部会研修会へ参加させ、障害福祉の現状把握と展望を学んでもらっています。

在職年数が少ない職員には、直接支援に当たる上で虐待を防止するための研修などを受講させています。

業務の見直しを行い、省力化を図って、直接支援時間の確保を目指しました。職員から、ケース記録や小遣い帳管理、支援計画作成などの時間が欲しいという要望から、月始めと月末に時間を設けました。結果、常に提出が遅延する職員は数名であり、職員教育の見直しが必要となりました。

新人職員には、マニュアルを用いながら、業務指導を行い、その内容を記録し、指導漏れのないようにしました。

自己啓発の推進のため、福祉関係の図書の購入を進めるも、職員に対する発信不足なのか借りていく職員は少ない状況でした。

#### 2) 人材確保と定着

応募者は、ハローワークだけではなく、求人サイトもチェックしており、求人サイトを運営している会社からは、週に1度はセールスの電話やファックスが入る状況であり。求人の方

式もハローワークや新聞広告に頼るのではなく、法人ホームページ等で、職場をどうアピールしていか

かが重要になり、求人票に記載する常務内容の再検討や待遇面を見直しました。求人サイトを見ての応募の問い合わせが数件ありました。事業所限定や土・日休日という条件には、応募者がありますが、正職員でも、夜勤があるとなるとなかなか応募がありませんでした。

採用者数は増加しましたが、職員の離職もあり、絶対的な職員数の増加にはなっていません。採用者確保に向けた取り組みと、職員の職場定着への取り組みも必要になります。

#### (4) 福祉サービス事業の新規事業の開設

放課後等デイサービス事業所の開設準備を行ってきましたが、児童福祉法に位置づけられた事業のため、定款の変更を理事会及び評議員会に諮り、承認を受けました。

おいらせ町との事前協議を経て、青森県の事前審査を受け、8月末に解説申請書を提出した結果、10月1日に開所することになりました。

事業所の案内を関係機関に行っていますが、3名の利用であり、早い時期に定員の10名に達するように努めていきます。

#### (5) 各事業所利用者様への支援方法の見直し

入所施設である「障害者支援施設あかしや寮」では、介護度が高くなり、生活支援では対応が難しくなってきた利用者様には、介護保険を利用できる施設への転出を勧めてきました。しかし、老化のスピードが速く、認知症や身体機能が低下している利用者様が増えつつあります。

身体機能を維持させるために、生産活動や重度部門で活動していますが、利用者様からは日々同じ内容で面白みに欠けるとの声が聞かれており、支援員の工夫不足を指摘されています。

わいわい、わくわく、グループホームでも同様であり、福祉サービスが画一化しており、利用者様が変化を求めているのに対して、その要望に応えようという気概に欠け、現状維持に終始しようとする姿勢を打破していく対策を早急に行う必要があります。

不適切な支援が何件かみられ、全事業所での対応を検証し、改善方法を何度も会議を開き話し合いました。それでも同じようなことを繰り返し、他の職員が気付いて難を逃れるということがあるため、さらなる職員研修が必要となりました。

「就労継続支援B型事業所わいわい」は、目標であった平均工賃15,000円を下回りました。椎茸の販売は、原木や種菌の値上がりにより、売値の見直しを行いました。ますます採算性が悪くなり、存続するかの検討に入っています。

数年休んでいた、移動販売を年度途中から再開しました。惣菜と菓子類を作る専門の職員をそれぞれ雇用し、販売は別な職員と利用者様とで行っています。徐々に固定客が付いてきており、味も良いので売り上げも上がってきています。今後は販売場所を増やしていく予定です。

「生活介護事業所わくわく」は、大きな事故等なく過ごすことができました。10名の定員に対し、利用率が平均70%程度でした。欠席する利用者様が多く、定員以上の利用者様の確保が課題となります。

「共同生活援助事業所すみれハイツ」は、3棟合わせて18名の入居定員に対し、12名の入居となっています。世話人及び生活支援員の配置の関係上、入居者を増やせないのが実情です。

支援区分判定の都度、支援区分が高く判定され、想定以上に重度化が進んできています。70歳前後の利用者様も数名おり、若年性認知症の利用者様も入居しているため、施設移行を含めた高齢化対策が必要になってきています。

### 3. 法人概要及び沿革

#### (1) 実施事業

第一種社会福祉事業
障害者支援施設 あかしや寮 施設入所事業 40名
第二種社会福祉事業
<p>障害者福祉サービス事業</p> <p>障害者支援施設あかしや寮 生活介護事業 40名 短期入所事業 2名</p> <p>日中活動支援センター わいわい(WAIWAI)多機能型 主たる事業所： 就労継続支援B型事業所 わいわい 20名 従たる事業所： 生活介護事業所 わくわく 10名</p> <p>介護サービス包括型共同生活援助事業所(グループホーム) すみれハイツ すみれハイツ5名 クリス6名 ベリー7名</p> <p>一般障害者相談事業 特別障害者相談支援事業 障害児相談支援事業所 あかしや寮</p> <p>児童福祉法事業 放課後等デイサービス事業所 キッズハウス ピッピ 定員10名</p>
公益事業
<p>日中一時支援事業</p> <p>おいらせ町、三沢市、八戸市、六戸町、五戸町からの委託事業(微々たる事業のため定款には登記せず)</p>
収益事業
なし

#### 4. 評議員及び役員等

	評議員 7名～9名	理事 6名～8名	監事 2名	評議員選任・解任委員 4名
1	櫻田 正直	柳本 英洋	松橋 秀夫	大鰐 守
2	三村 正太郎	千葉 潜	馬場 洋一	橋本 綾子
3	吉田 明雄	柏崎 秀一		松橋 秀夫
4	種市 恭子	秋山 紘美		馬場 洋一
5	馬場 巖	大嶋 千早		
6	遠藤 義弘	川原 達蔵		
7	栗村 夏江	須永 道夫		
8	橋本 鉄男	寺澤 昭二		
9	平野 敏彦			

5. 理事会・評議員会の開催状況

(1) 理事会

回	議 案	出席者
1	<p>報告第1号 平成29年度監事監査報告について</p> <p>報告第2号 理事長職務執行状況報告について</p> <p>議案第1号 平成29年度事業報告案について</p> <p>議案第2号 平成29年度決算報告案について</p> <p>議案第3号 定款の一部変更案について</p> <p>議案第4号 経理規程一部改正案について</p> <p>議案第5号 準職員就業規則一部改正案について</p> <p>議案第6号 平成30年度第1次補正予算案について</p> <p>議案第7号 内部留保資金の積立てについて</p> <p>議案第8号 定時評議員会の日時及び議案について</p>	<p>理事 8名</p> <p>監事 2名</p>
2	<p>議案第1号 平成30年度第2次補正予算案について</p> <p>議案第2号 放課後等デイサービス事業所平成30年度（平成30年10月1日～平成31年3月31日）予算案について</p> <p>議案第3号 給与規程一部改正案について</p> <p>議案第4号 平成30年度福祉サービス自己評価について</p> <p>議案第5号 欠員評議員の評議員選任・解任委員会への推薦案について</p> <p>議案第6号 平成30年度第1回臨時評議員会の招集について</p> <p>報告第1号 平成30年度事業経過報告について</p> <p>報告第2号 定款変更完了報告について</p> <p>報告第3号 障害者支援施設あかしや寮・日中活動支援センターわいわい・指定短期入所事業所あかしや寮・共同生活援助事業所すみれハイツ更新認可について</p>	<p>理事 7名</p> <p>監事 1名</p>
3	<p>議案第1号 2019年度事業計画案について</p> <p>議案第2号 2019年度当初予算案について</p> <p>議案第3号 平成30年度第3次補正予算案について</p> <p>議案第4号 就業規則・準職員就業規則・給与規程一部改正案について</p> <p>議案第5号 平成30年度第2回臨時評議員会の招集について</p> <p>報告第1号 平成30年度社会福祉法人等指導監査及び障害福祉サービス事業者実地指導の結果について</p> <p>報告第2号 一般相談支援事業所あかし寮更新認可について</p> <p>報告第3号 平成30年度正職員採用及び退職について</p> <p>報告第4号 理事長の職務執行状況について</p>	<p>理事 8名</p> <p>監事 2名</p>

(2) 評議員会

回	議案	出席者
定時評議員会	報告第1号 平成29年度監事監査報告について 報告第2号 経理規程一部改正案について 議案第1号 平成29年度事業報告案について 議案第2号 平成29年度決算報告案について 議案第3号 定款の一部変更案について 議案第4号 平成30年度第1次補正予算案について 議案第5号 内部留保資金の積立てについて	評議員7名 監事 1名
第1回臨時評議員会	議案第1号 平成30年度第2次補正予算案について 議案第2号 放課後等デイサービス事業所平成30年度（平成30年10月1日～平成31年3月31日）予算案について 報告第1号 給与規程一部改正案について 報告第2号 平成30年度福祉サービス自己評価について 報告第3号 平成30年度事業経過報告について 報告第4号 定款変更完了報告について 報告第5号 障害者支援施設あかしや寮・日中活動支援センターわいわい・指定短期入所事業所あかしや寮・共同生活援助事業所すみれハイツ更新認可について 報告第6号 放課後等デイサービス事業所の認可について 報告第7号 社会福祉充実残額の経過報告について	評議員8名
第2回臨時評議員会	議案第1号 2019年度事業計画案について 議案第2号 2019年度当初予算案について 議案第3号 平成30年度第3次補正予算案について 報告第1号 平成30年度社会福祉法人等指導監査及び障害福祉サービス事業者実地指導の結果について 報告第2号 就業規則・準職員就業規則・給与規程一部改正案について 報告第1号 報告第2号 一般相談支援事業所あかし寮更新認可について 報告第3号 平成30年度正職員採用及び退職について 報告第4号 理事長の職務執行状況について	評議員9名

(3) 評議員選任・解任委員会

回	議案	出席者
1	議案第1号 欠員評議員候補者の選任について	外部委員1名 監事2名 事務局員1名



6. 寄付状況

寄付の目的	寄付者	金額	寄付の方法・条件
法人の運営	三栄防火機材	100,000	現金
法人の運営	柏崎秀一	107,748	現金
法人の運営	千葉潜	1,077,480	現金
法人の運営	寺澤昭二	2,000,000	現金
法人の運営	柳本英洋	3,300,000	現金
	合計	6,585,228	

7. 契約関係（50万円以上）

契約年月日	相手方名称	契約の概要	金額
平成30年10月31日	小柳花郷園	アザレア苗購入	500,056
平成30年10月12日	七戸工業	椎茸用原木購入	745,200
平成30年12月1日	(有)オートモーリス	送迎車両購入 トヨタルーミー	1,980,000
平成31年1月21日	田中建設工業(株)	敷地内凍害破損舗装復旧工事	3,888,000
平成31年2月5日	ヤンマー	トラクター購入	1,782,000
平成31年3月16日	(有)エヌティエス	見守りカメラ増設工事	1,620,000

8. 申請、許可、認可及び承認に関する事項

許認可年月日	認可・許可事項	更新認可年月日	認可・許可事業所
平成30年9月11日	事業所更新認可	平成30年10月1日 ～平成36年9月30日	指定短期入所事業所あかしや寮
平成30年9月11日	事業所更新認可	平成30年10月1日 ～平成36年9月30日	すみれハイツ
平成31年3月22日	事業所更新認可	平成30年4月1日 ～平成36年3月31日	障害者支援施設あかしや寮
平成31年3月22日	事業所更新認可	平成30年4月1日 ～平成36年3月31日	日中活動支援センターわいわい
平成31年3月22日	事業所更新認可	平成30年4月1日 ～平成36年3月31日	

9. 補助金、共同募金に関する事項

申請年度	交付機関名	交付及び使用目的	決定年月日	金額
平成31年 1月 4日	青森県	結核予防補助金	平成31年 3月26日	8,120円

10. 定款変更について

○事務所、資産の区分の所在地について	(主な変更内容)
申請年月日	平成30年 6月26日
許可年月日	平成30年 7月11日
○総則 役員及び職員	(主な変更内容) なし
申請年月日	平成 年 月 日
許可年月日	平成 年 月 日
	(主な変更内容) なし
申請年月日	平成 年 月 日
許可年月日	平成 年 月 日
○資産及び会計について	(主な変更内容)
申請年月日	平成 年 月 日
許可年月日	平成 年 月 日

11. 登記の状況

登記事項	変更の有無	
(1) 目的及び業務	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	平成30年 7月17日
(2) 名称	有 <input checked="" type="radio"/> 無	平成 年 月 日
(3) 事務所	有 <input checked="" type="radio"/> 無	平成 年 月 日
(4) 代表権を所有する者の氏名、住所及び資格 (理事長就任)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	平成 年 月 日
(5) 在立時期又は解散の自由を定めたときは、その時期及びその事由	有 <input checked="" type="radio"/> 無	平成 年 月 日
(6) 代表権の範囲又は制限に関する定めがあるときは、その定め	有 <input checked="" type="radio"/> 無	平成 年 月 日
(7) 資産の総額	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	平成30年 6月22日

## 12. 主務官庁指示に関する事項

実地指導実施日	平成30年11月28日
実地指導内容	平成30年度社会福祉法人等指導監査及び障害福祉サービス事業者実地指導
実地指導実施官庁	東青地域県民局地域健康福祉部

集団指導実施日	平成31年 3月19日
集団指導内容	平成30年度指定障害福祉サービス事業者等集団指導
集団指導実施官庁	青森県健康福祉部障害福祉課

## 13. 事業所別収入（前年度対比）

事業名	年度	平成29年度(円)	平成30年度(円)	前年比(円)	前年比(%)
施設入所支援事業		85,526,234	87,488,356	1,962,122	102.3
生活介護事業(あかしや寮)		107,666,543	108,365,996	699,453	100.6
短期入所事業		3,863,700	1,598,640	-2,265,060	41.0
就労継続支援B型事業		37,373,647	52,264,843	14,891,196	139.8
生活介護事業(わくわく)		19,540,590	18,015,950	-1,524,640	92.2
共同生活援助事業		18,852,032	20,294,703	1,442,671	107.7
相談支援事業		1,957,580	1,848,390	-109,190	94.4
日中一時支援事業		93,100	118,250	25,150	127.0
放課後等デイサービス事業			964,460	964,460	
合計		274,873,426	290,959,588	16,086,162	105.8

14. 各事業所利用者様の状況

(1) 障害者支援施設 あかしや寮 入所支援

1) 支援区分

平成31年3月31日現在

定員	現員	区分	1	2	3	4	5	6	計
40	39	男	0	0	1	4	8	8	21
		女	0	0	0	5	6	7	18
		計	0	0	1	9	14	15	39
平均区分：全体 5.1 男：5.0 女：5.1									

2) 利用者の年齢

年齢	18～25	26～30	31～35	36～40	41～45	46～50	51～55	56～60	61～65	66～70	計
男	0	1	3	2	2	0	9	0	2	2	21
女	1	0	4	0	2	1	7	1	0	2	18
平均年齢：全体 47.3歳 男：49.0歳 女：41.9歳 最少年齢：20歳 最高年齢：68歳											

3) 出身地

市町村	八戸市	三沢市	十和田市	むつ市	おいらせ町	六戸町	東北町	横浜町	三戸町	五戸町	階上町	田子町	外ヶ浜町	六ヶ所村	計
男	4	7	0	1	4	1	2	0	0	0	0	0	1	1	21
女	0	3	5	0	4	2	1	1	0	1	0	1	0	0	18
計	4	10	5	1	8	3	3	1	0	1	0	1	1	1	39

4) 月別施設利用状況

施設入所支援		4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
定員 40	延人数(人)	1,155	1,182	1,159	1,216	1,137	1,104	6,953
	平均(人)	38.5	38.1	38.6	39.2	36.6	36.8	37.9
	利用率(%)	96.2	95.3	96.5	98.0	91.6	92.0	95.5
施設入所支援		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定員 40	延人数(人)	1,198	1,174	1,205	1,194	1,104	1,185	14,013
	平均(人)	38.6	39.1	38.8	38.5	39.4	38.2	38.3
	利用率(%)	96.6	97.8	97.1	96.2	98.5	95.6	88.4

## (2) 障害者支援事業所 あかしや寮 生活介護

## 1) 支援区分

平成31年3月31日現在

定員	現員	区分	1	2	3	4	5	6	計
40	40	男	0	0	1	4	8	9	22
		女	0	0	0	5	6	7	18
		計	0	0	1	9	14	16	40
平均区分：全体 5.1 男：5.1 女：5.1									

## 2) 利用者の年齢

年齢	18～25	26～30	31～35	36～40	41～45	46～50	51～55	56～60	61～65	66～70	計
男	0	1	3	3	2	0	9	0	2	2	22
女	1	0	4	0	2	1	7	1	0	2	18
計	1	1	7	3	4	1	16	1	2	4	40
平均年齢：全体 47.1歳 男：51.3歳 女：41.9歳 最小年齢：20歳 最高年齢：68歳											

## 3) 出身地

市町村	八戸市	三沢市	十和田市	むつ市	おいらせ町	六戸町	東北町	横浜町	三戸町	五戸町	階上町	田子町	外ヶ浜町	六ヶ所村	計
男	4	7	0	1	4	2	2	0	0	0	0	0	1	1	22
女	0	3	5	0	4	2	1	1	0	1	0	1	0	0	18
計	4	10	5	0	4	2	1	1	0	1	0	1	1	1	40

## 4) 月別施設利用状況

生活介護		4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
定員 40	延人数(人)	836	905	837	890	832	758	5,058
	平均(人)	39.8	39.3	39.8	40.4	36.1	32.9	38.0
	利用率(%)	99.5	98.3	99.6	101.1	90.4	82.4	94.3
生活介護		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定員 40	延人数(人)	911	882	804	898	809	825	10,187
	平均(人)	39.6	40.1	36.5	40.8	40.5	39.3	38.7
	利用率(%)	99.0	100.2	91.3	102.0	101.1	98.2	96.5

## (3) 就労継続支援B型事業所 わいわい

## 1) 支援区分

平成31年3月31日現在

定員	現員	区分	判定なし	1	2	3	4	5	6	計
20	14	男	3	0	0	3	2	0	0	8
		女	2	0	1	2	1	0	0	6
		計	5	0	1	5	3	0	0	14
平均区分：全体 2.0 男：2.1 女：2.0										

## 2) 利用者の年齢

年齢	18～25	26～30	31～35	36～40	41～45	46～50	51～55	56～60	61～65	66～75	計
男	1	1	0	0	1	0	0	2	1	2	8
女	0	1	2	1	1	0	1	0	0	0	6
計	1	2	2	1	2	0	1	2	1	2	14
平均年齢：全体 45.0歳 男：50.7歳 女：37.5歳 最少年齢：19歳 最高年齢：72歳											

## 3) 出身地

市 町 村	八戸市	三沢市	青森市	おいらせ町	六戸町	五戸町	階上町	六ヶ所村	計
男	2	1	1	1	1	0	1	1	8
女	3	0	0	3	0	0	0	0	6
計	5	1	1	4	1	0	1	1	14

## 4) 月別施設利用状況

就労継続支援B型		4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
定員 20	延人数(人)	243	255	236	236	273	252	1,495
	平均(人)	11.5	11.0	11.2	10.7	11.8	12.6	11.4
	利用率(%)	57.8	55.4	56.1	53.6	59.3	63.0	57.5
就労継続支援B型		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定員 20	延人数(人)	294	280	272	280	240	257	3,118
	平均(人)	12.7	12.7	12.9	9.0	12.0	12.2	11.6
	利用率(%)	63.9	63.6	64.7	60.8	60.0	61.1	59.9

(4) 生活介護事業所 わくわく

1) 支援区分

平成31年3月31日現在

定員	現員	区分	1	2	3	4	5	6	計
10	10	男	0	0	0	2	0	3	5
		女	0	0	1	1	2	1	5
		計	0	0	1	3	2	4	10
平均区分：全体 4.9 男：5.2 女：4.6									

2) 利用者の年齢

年齢	19～25	26～30	31～35	36～40	41～45	46～50	51～55	56～60	61～65	66～70	計
男	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	5
女	0	1	1	0	1	0	1	0	0	1	5
計	2	2	1	2	1	0	1	0	0	1	10
平均年齢：全体 37.7歳 男：29.2歳 女：46.2歳 最少年齢：20歳 最高年齢：69歳											

3) 出身地

市町村	八戸町	三沢市	横浜町	おいらせ町	六戸町	東北町	五戸町	六ヶ所村	計
男	0	1	0	2	1	1	0	0	5
女	0	2	1	1	0	0	1	0	5
計	0	3	1	3	1	1	1	0	10

4) 月別施設利用状況

生活介護		4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
定員 10	延人数(人)	166	180	164	172	164	144	990
	平均(人)	7.9	7.8	7.8	7.8	7.1	7.2	7.6
	利用率(%)	79.0	78.2	78.0	78.1	71.3	72.0	76.1
生活介護		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定員 10	延人数(人)	147	142	130	129	139	153	1,830
	平均(人)	6.3	6.4	6.1	5.8	6.9	7.2	7.0
	利用率(%)	63.9	64.5	61.9	56.0	69.5	72.8	70.4

## (5) 共同生活援助事業所（グループホーム） すみれハイツ

平成31年3月31日現在

## 1) 支援区分

定員	現員	区分	1	2	3	4	5	6	計
18	12	男	0	1	3	2	0	0	6
		女	0	0	3	2	1	0	6
		計	0	1	6	4	1	0	12
平均区分：全体 3.4 男：3.1 女：3.6									

## 2) 利用者の年齢

年齢	19～25	26～30	31～35	36～40	41～45	46～50	51～55	56～60	61～65	66～75	計
男	0	1	0	0	0	0	1	1	1	2	6
女	0	0	2	0	1	0	2	0	0	1	6
計	0	1	2	0	1	0	3	1	1	3	12
平均年齢：全体 51.9 歳 男：56.6 歳 女：47.1 歳 最小年齢：28 歳 最高年齢：72 歳											

## 3) 出身地

市 町 村	八 戸 市	三 沢 市	青 森 市	お い ら せ 町	南 部 町	横 浜 町	五 戸 町	階 上 町	六 ヶ 所 村	計
男	2	0	1	0	1	0	0	1	1	6
女	2	1	0	1	0	1	1	0	0	6
計	4	1	1	1	1	1	1	1	1	12

## 4) 月別施設利用状況

共同生活援助		4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
定員 18	延人数(人)	331	361	358	372	365	357	2,144
	平均(人)	11.3	11.6	11.9	12.0	11.7	11.9	11.7
	利用率(%)	61.2	64.6	66.2	66.6	65.4	66.1	65.0
共同生活援助		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定員 18	延人数(人)	371	360	368	362	336	372	4,313
	平均(人)	11.9	12.0	11.8	11.6	12.0	12.0	7.0
	利用率(%)	66.4	66.6	65.9	64.8	66.6	66.6	65.5



(6) 放課後等デイサービス キッズハウス ピッピ

1) 利用者の年齢

平成31年3月31日現在

年齢	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	計
男	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
計	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3

平均年齢：全体 12.3歳 男：9.5歳 女：18.0歳 最少年齢：7歳 最高年齢：18歳

2) 出身地

市町村	三沢市	五戸町	計
男	2	0	2
女	0	1	1
計	2	1	3

4) 月別施設利用状況

放課後等デイサービス		10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
定員10	延人数(人)	0	0	6	9	38	36	89
	平均(人)	0	0	0.2	0.3	1.5	1.3	0.5
	利用率(%)	0	0	0.02	0.03	0.15	0.13	0.05

## 各事業所共通事項

### 1. 苦情解決・虐待防止

#### (1) 年度重点目標報告

寄せられた苦情件数は、あかしや寮利用者様からの2件でした。2件とも、職員の接遇に関するものとなっています。それぞれの事例について、十分な説明を行い、謝罪をして御理解いただきました。

入所施設では、利用者自治会が運営している朝会で、相談を受ける時間帯を設けています。不安な事、利用者様同士のトラブル等について話し合いが行われており、問題を解決しています。

苦情や相談等を職員に伝えることが困難な利用者様に対し、その意をくみ取ることや多様化している苦情・相談等に対応していくため、職員の意識改革が必要です。スキルアップを図り、苦情等に対して、今後も誠意をもって対応し、事故のない安全。安心なサービス提供ができるようにしていきます。

#### (2) 苦情内容

日付	苦情内容	対応
8月 8日	・保護者様より「K・Tの首に指の痕がありました。今朝は少々アザが残り、薄くなっていますが、どういう状況でついたのでしょうか。5月6月にも背中に引っ掻き傷などもありましたが、それはそれとしても、首に指の跡が残るとは驚いています。多動かもしれませんが、確かに身体も大きく、スピードもあるので、他利用者様の方々に迷惑も掛けているとは思いますが、何か良い方法がありましたらお知らせ下さい」と、連絡ノートに記載されていました。	・関係部署全職員より状況確認。夕方より保護者様と話し合いの場を設けました。傷ができたと思われる日は、利用者様同士のトラブル等もなく、傷に気づいた職員は、虫刺されを引っ掻いたように思い、保護者様への連絡は必要と感じなかったことをお伝えしました。また、背中の傷については、木製ベンチに斜めにもたれ擦り付けていることがあり、衣類も薄くめくれてついたと推測されることを話しました。保護者様は5月6月の傷をスマホに残しており、以前より不信に感じていたと思われます。 今後は、帰宅時に職員2人で身体確認を行い、その状況を保護者様へ連絡することとしました。
8月21日	・職員の態度や対応について、気になっていることがある。声を掛けても返事がなかったり、腰に手を当てて立っている。他の利用者も辛そうにしていることがある。	・職員で話し合いを持った。対応に当たった職員はもちろんのこと、職員1人1人が利用者様への対応には、十分注意しなければならないことを再確認した。

## 2. 食事提供サービス

### (1) 年度重点目標報告

行事食やビュッフェで、季節感を演出できるような献立作成を行いました。利用者様の疾病や身体状況に適した食事を提供するため、支援員、看護師と相談し、随時対応しました。

衛生的な調理に関しては、2時間以内の喫食となるよう調理が行われなかったことがありました。衛生面への注意・意識の薄れが原因と考え、調理から2時間以内の喫食となるように、調理時間の配分をすることと、加熱温度のチェック表への記入が、正式な調理時間となるようにしました。

味付けや盛りつけに、ばらつきがあり、安定した給食提供を行うことができませんでした。味付け、盛りつけに調理員の個人差が出ていることが原因であると思います。必ず味見をして、確認することと厨房内で指摘し合うことで、安定した給食の提供ができるようにします。

### (2) 疾病への対応について

利用者様個人の嚥下、咀嚼能力に適した食事形態で、食事の提供を行いました。利用様の身体状況は一定ではないため、高齢化や疾病等の変化に常に対応できるように、支援員、看護師との情報共有を密に行い、むせ込みがある利用者様の食事状況の把握、痩身や肥満傾向の利用者様へ食事量の調整などを行いました。

嚥下機能の段階に適応した食形態での食事を提案できるよう、研修や資料等から情報収集を行い栄養士としての知識を深め、嚥下段階別調整食の分類表を作成し、厨房に掲示、職員会議で情報共有を行いました。

## 3. 保健衛生

### (1) 年度重点目標報告

利用者様の高齢化が進み、疾病や体調の変化がみられてきました。利用者様の健康面を職員間で共有し、異変が見られたなら、早めに医療機関を受診し、大事には至りませんでした。利用者様の少しい異変で、今後どのような病気が考えられるかを看護師として、支援員に伝えないことがあり、情報を共有し合うこと、そのための知識をもっと得ることが必要だと感じました。

利用者様が外出時、食べ物を喉に詰まらせる事故がありました。健康面だけではなく、本人様の食事の内容、摂取の仕方等、生活歴も職員全員が把握し、どんなときも忘れずに配慮することが重要と再確認しました。

感染症流行時期には、全職員で感染症対策強化に取り組みました。

### (2) 業務状況

#### 定期健康診断、検診

年2回、青南病院にて健康診断を受けました。その結果を経過観察し、医師からの指摘があった方や異常数値が続いている方は受診し、早めの疾病治療開始することができました。高尿酸血症、慢性腎不全の内服治療開始した方が1名いました。

医師へ状態を密に報告することで、医師より完治されたとの判断でしばらく治療していたが終了できた方が6名いました。健康診断の結果は全利用者様の御家族へも送付しました。

柏崎歯科へ依頼し、歯科検診を2回実施しました。虫歯保有者は歯科通院し治療しました。

おいらせ町で実施している胃癌、大腸癌、婦人科健診を受けられる方は受け、要精査の方はいませんでした。検査ができない方は、何か異変があった際、御家族様引率で受診をしていただくよう説明しました。

## 2) 支援員、栄養士、御家族との連携

支援員から、利用者様の体調異変の報告があったときは、状態を確認し、通院が必要だと判断した場合、支援員の協力のもと、早めに受診することができました。

グループホームの方も同じく通院しますが、通所利用者様の場合、御家族様へ連絡をし、御家族様の引率で受診をしていただきます。

毎月、利用者様の体重測定を行っています。体重の増減が著名にみられた場合、栄養士と支援員と話し合いを持ち、食事面や生活面での工夫をしました。

検診の結果や健康面で異常がみられ受診が必要な場合、検査の理解ができない、拒否がある等で施設側で通院が難しい場合、御家族様へ連絡をし、対応できる病院へ御家族様で受診していただきました。

## 4. 防犯・防災

### (1) 年度重点目標報告

非常通報装置や見守りカメラ等の活用ができるよう、日頃から保守点検を行いました。災害が発生した際に必要となる、ヘルメットやライト、担架などの設置場所を把握し、活用できるように、職員への周知を図りました。

毎月の消防訓練では、消火器、火災報知器、AEDの設置場所、防災設備の使用法について指導を行いました。

県より、地域の実状を踏まえた、風水害、地震、津波、火災の災害対策を策定するよう指導があったため、新たに、災害対策マニュアルを作成しました。

### (2) 活動状況

#### 1) リスクマネジメント

あかしや寮

##### (1) 事故報告

- ① 三沢祭りの付随行事に施設が出店しており、利用者様達は見学に来られ、その際に購入し食した串餅にて誤嚥事故が発生し、女性利用者様が救急搬送されました。
- ② 施設内で入浴をされていた男性利用者様が、湯あたりによる体調不良を起こし救急搬送されました。

##### (2) ヒヤリハット報告

- ① 服薬時、該当利用者様の薬ボックスの前後にセットされていた薬を一緒に手に取ってしまいましたが、服薬前に気付いたため、誤薬に至りませんでした。
- ② 荷物搬入の為(ため)、玄関の開錠、搬入後の施錠が行われず利用者様が外へ出てしまいましたが、外にいた職員が気づき玄関へ誘導したため、事故につながりませんでした。
- ③ 朝食の味噌汁を職員がよそった際に、お椀に浮いていた青いビニールを発見したため、利用者様が誤食することはありませんでした。

## 2) 防災

### ① 消防訓練

月に1回、マニュアルに基づき、避難誘導訓練や初期消火訓練を行いました。

## ② 炊き出し訓練

7月19日、災害時に非常食の炊き出しが出来るよう炊き出し訓練を行い、利用者様へ提供しました。ガス釜に慣れておらず、火をつけるのに時間が掛かってしまいました。無洗米やレトルトのカレーは美味しかったという声が聞こえました。

## ③ 総合防災訓練

11月11日、合同防災訓練を実施しました。おいらせ消防署北分遣所3名、木ノ下地区防災協力隊6名、おいらせ町消防団第5分団9名が参加しました。訓練後、消防隊員より、救命講習(異物排除、転倒時の対応、AEDの使用方法)を実施しました。

## 3) 防犯対策

2月21日、全職員の危機管理意識を高めるため、三沢警察署生活安全課へ防犯対策訓練の依頼をしました。防犯講話、不審者対応、刺股の使用について、学びました。

防犯体制については、防犯対策マニュアルを作成し、全体へ周知を図りました。来訪者の入退所管理を適切に行い、朝夕会等で、来訪者の予定を職員全体へ情報提供を行いました。

合同防災訓練にて、木ノ下地区防災協力隊隊長より、夜間想定で職員と利用者様の見分けがつかないこと。夜間、非常灯がないと見えないため、所々に蓄光テープなどを貼った方が良いこと。煙を吸わないよう体勢を低くするため、テープもそれに合わせて貼った方が良いと等の指摘がありました。安全に避難が行えるよう、改善を行っていきます。

## 5. 福祉サービス自己評価

### (1) 障害者支援施設 あかしや寮

7月に当法人を利用されている利用者様と職員に対し、福祉サービス自己評価を実施しました。利用者様は東京都福祉サービス第三者評価項目、職員は全国社会福祉協議会第三者評価事業を使用しました。

集計結果については、食事、施設設備などについては、高い評価を得ることができました。福利厚生事業への取り組みについては、昨年度は評価が低く職員全体へ具体的に説明を行った事が改善につながったと考えられます。改善された項目は、今後も継続していけるように全職員で努めていき、低い評価の項目は、改善し質の高いサービスが提供ができるように努める必要があります。

利用者様からは、映画やボウリングに行きたい、みんなでもっと外に出たい、食事が美味しい、ペリー(セラピー犬)がいるから好き、椎茸に関わる仕事が一番好き、他利用者様の寝言がうるさくて寝られなくなるなどの利用者様の意見が寄せられました。サービスの満足度については、職員の言葉遣い、態度について、低い評価となりました。「困ったとき、職員以外の人(役所や第三者委員など)にも相談できる事をわかりやすく伝えてくれましたか」についても、低い評価となり、しっかりと説明し情報提供していく必要があります。職員の支援力不足を反省し支援の質の向上に努める必要があります。

### (2) 就労継続支援B型事業所 わいわい

7月に当事業所の利用者様と職員に福祉サービス自己評価を行いました。

集計結果においては、組織の運営管理、地域との交流と連携、適切な福祉サービスの評価が昨年より高評価となりました。職員会議や他の会議で継続的に議題として取り上げ、職員の意識改革が高評価へつながったと考えられます。

利用者様からは、事業所に対して「満足」という評価が昨年より高い評価となりました。サービスの提供、安心・快適性に於（お）いては、「どちらともいえない」の評価が多い結果となり、日頃より接する際に利用者様一人一人に対して、分かりやすい説明に努める必要があります。職員の支援力不足を反省し、支援の質や内容の向上に努める必要があります。

### （３）生活介護事業所 わくわく

管理者の責任とリーダーシップについて、緊急時の対応や実習生の対応も高評価でした。職員に対し理念は明確化できていると評価が得られましたが、利用者様には周知（理解）できていないと感じている職員が多数見られました。

わくわく利用者様は重度の方が多く理解困難と思われまます。利用者様だけではなく保護者様向けの施設広報誌などを活用し施設の理念、第三者委員の存在等を記載して周知する事で施設の様々な取り組みを理解していただけたと思います。

### （４）共同生活援助事業所 すみれハイツ

福祉サービスの基本方針と組織、安全管理、適切な福祉サービスに関しては評価は高くなりました。福祉サービスの基本方針と組織の「理念や基本方針が利用者等に周知されている」に関しては、不十分と感じている職員が多く見られました。

組織の運営管理に関しては、福利厚生については高い評価でしたが、外部監査の実施や職員の就業状況については、不十分だと感じている職員がいました。

## 6. 広報・地域交流

法人広報誌や施設行事などを通し、各事業所での活動や新事業所についての情報を発信し、地域の皆様へ法人事業の紹介を行いました。

### （１）法人広報誌発行

広報誌を9月、3月に発行しました。法人の新事業所の紹介や、各事業所での活動の様子、行事の様子等を近隣関係者、御家族へお知らせしました。

### （２）地域の企業、小・中・高等学校、保育所との交流

8月に百石中学校生徒10名のボランティア体験学習の受け入れを行いました。パンフレット配布や施設見学を通し、当法人の事業や取り組みについて紹介しました。

12月15日に行われた感謝祭には八戸工業大学1名、五戸高等学校3名、八戸北高等学校1名の学生がボランティアに来てくださいました。販売の補助、受付などを行っていただきました。

12月21日には、マックスバリュ三沢大町店様よりクリスマスケーキを頂きました。

### （３）広報活動

おいらせ町で行われた秋の農業祭りや北部公民館祭、三沢基地航空祭などに出席させていただきました。障害者支援施設かけはし寮様や、のぞみ園様の祭にも出席させていただきました。パンフレットを配布し、施設紹介パネルの展示を行いました。法人の活動や施設の取り組みを皆様に知っていただけるよう努めました。

#### (4) 感謝祭の開催

12月15日に感謝祭を開催しました。ご家族、地域の皆様196人の来場がありました。地域の保育園やサークル団体にステージ発表をしていただき、地域の皆様に楽しんでいただきました。施設内に各事業所の紹介パネルを設置し、施設商品の販売を行い、法人事業の紹介を行いました。

#### (5) 地域貢献

4月に全事業所合同で地域の道路清掃を行いました。また、施設看板設置場所に花を植え、環境美化を行いました。

### 7. 実習生受け入れ

#### (1) 特別支援学校実習生受け入れ

あかしや寮では、七戸養護学校高等部から4名が施設見学に、八戸第一養護学校中等部からは1名の実習を受け入れました。実習、見学に来た生徒様、付き添いの先生方へ、当施設のパンフレットを渡し、沿革、特色の説明を交えながら案内を行い、施設の宣伝、今後の進路選択においての参考としていただきました。

#### (2) 専門学校等実習受け入れ

2月～3月で八戸学院大学短期大学部の学生8名を受け入れ、昭壽会全事業所にて実習を行っていただきました。障害児・者に初めて接する学生の方々でしたが、毎日の活動の中で利用者様と積極的にコミュニケーションを図ることができていました。実習を通して障害児・者への理解を深め、また福祉職に関心を持ってくれる事ができればと思います。

### 8. 家族支援

#### (1) 保護者会

4月には、あかしや寮手をつなぐ育成会定例総会と事業所利用契約更新手続きを行いました。契約書を事前に保護者様宛(ずつ)に郵送してあったため、混乱することなく進める事ができました。

家族交流日や面会日、三者面談と、利用者様のご家族と過ごす時間を増やしました。ご家族との外出や帰宅を促す事で、ご家族との絆を深め、家族の一員としての時間を十分に持ち、落ち着いて、施設生活を送る事ができるように配慮しました。

#### (2) 事業所参観デー

ご家族様に日頃の活動の様子を見ていただくために企画した参観デーでした。平日ということもあり、出席人数は全体で30%弱となりました。出席したご家族様からは、利用者様の様子を見ることができて良かった。継続して欲しいとの要望が聞かれました。開催時期、参観方法等を検討し継続できたらと考えます。

#### (3) 三者面談会

9月22日と3月23日に利用者様、保護者、担当職員との面談を行いました。個別支援計画についての説明と現在の支援状況などについて説明を行いました。

## 9. 車輛関係・安全運転管理

### (1) 車両事故など

4月12日	マイクロバスのバッテリーがあがり、保険摘要内のロードアシストを使用し翌日復旧しました。その後は、定期的にエンジン始動させ対応しました。
1月31日	止まっていた送迎中のハイエースへ、スリップして数台の車にぶつかりながら、右側フロント部分に衝突しました。利用者様が1名乗車していましたが、幸い怪我はありませんでした。ドライバーにも怪我はありませんでした。
3月19日	給油中、アルファードガソリン給油漏れ発生し、業者へ車両修理対応しました。原因は、給油タンクへ繋がっているパイプの劣化部分からの漏れでした。

### (2) 車両洗車・車内清掃

車両清掃は定期的に行いました。雨天時車体汚れが目立つ際洗車を実施しました。

### (3) 車両点検

定期的に点検を項目に沿って実施しました。

## 10. 設備管理

### (1) 生活用水確保、水質検査

あかしや寮とわいわいは、地下水を飲用と生活用水に使用しているため、毎月残留塩素の確認を行い、安全な水の提供を行いました。

3ヶ月に一度、浄化水質検査を実施し三沢市食品衛生協会様へ塩素濃度を測定した飲料水の提出を行いました。冬期間は貯水槽小屋にヒーターを設置し、凍結防止に努めました。

### (2) 備品・整備、その他

新トラックが4月24日納車となりました。オートマチックで限定免許者でも可能で、運転できる職員が広がりました。

### (3) 危険物の対象管理法

定期的に保管場所の施錠確認を行い、利用者様が誤って立ち入ることがないように、安全対策に努めました。



## 11. 法人外研修

	研修名	場所	人数
4月25日～27日	日本ホビーショー・先進施設見学	東京都	4人
6月21日	安全運転管理者に対する講習	三沢市	1人
6月25日	社会福祉法人指導監査対策セミナー	青森市	3人
7月2日～3日	平成30年度 全国知的障害関係施設長等会議	東京都	4人
7月20日	栄養・食育マネジメントセミナー	青森市	1人
7月24日	メンタルヘルス不調者の早期発見と対処	八戸市	1人
7月25日	上北地区特別支援教育情報交流会	七戸町	2人
7月24日～26日	相支援従事者現任研修	青森市	1人
8月10日	事故予防と緊急時対応研修	仙台市	1人
8月23・27・28	社会福祉施設中堅・指導的職員研修	青森市	1人
9月13日	福祉サービス苦情解決関係者等研修会	青森市	1人
9月20日	虐待防止研修会	八戸市	3人
10月11日	青森県知的障害者福祉協会児童発達支援部会研修会	青森市	1人
10月23日	報告・指示の仕方、受け方研修会	青森市	2人
10月24日	法令遵守に沿った介護記録集中研修会	青森市	2人
12月12日～14日	相談支援従事者初任者研修	青森市	2人

看護師、栄養士、支援員などの各職種毎で、専門職としての知識や資質向上につながる研修に参加しました。栄養士の研修では、嚥下食の食事形態について病院間、施設間で共通の段階があり、その段階に基づいた嚥下食を提供できるよう支援員、厨房職員で情報共有しました。

9月の虐待防止研修や10月の報告・指示の仕方、介護記録研修など、現場ですぐ活かせる研修については、スキルアップ研修を利用して速やかに伝達研修を行い、職員間での共通理解を図りました。虐待についての再認識や、介護記録の注意点など、サービスの質の向上に繋（つな）がりました。

# 障害者支援施設 あかしや寮

## (施設入所支援事業・生活介護事業)

### 1. 年度重点目標報告

個別支援計画会議では、本人様の出席を原則とし、三者面談会を年2回開催し、本人様、ご家族様の希望や今後の生活についての話し合いを行い、個別支援計画書の見直しを行いました。

高齢化対策として、身体機能や認知機能が低下しないよう、居室配置や活動内容の検討、排泄支援、食事支援など生活環境を整えました。褥瘡防止用クッション等、介護用品が必要となる利用者様もあり、日々の状態観察に気を付け、早期発見・予防に努めました。身体機能の維持・向上では、歩行や軽運動、屋外散策を行い、体力維持・増進を図りました。

利用者様の高齢化・重度化に伴い、入院や介護老人施設への移行なども考えられます。ライフステージにあったサービス提供が出来るよう、関係機関と連携を取り、その人らしい生活を送れるよう、早期発見・治療に努め、重篤な状態となる前に対応出来るよう支援が必要です。

ご家族様の高齢化もあり、外泊や外出の回数が減少傾向にあります。ご家族様との連絡を密にし、共に過ごす時間を増やせるよう努めました。

レクリエーションや外出等では、レストランやスーパーへの買い物、散髪などに出かけることで、地域との交流を図り、自立と社会参加の促進に努めました。

利用者自治会「フレンズ」からの意見、要望、苦情等については、早期解決に向け、ホームルームを利用し、その都度、話し合いの場を設けました。

支援員の業務改善のため、利用者様の活動時間を短縮し、記録時間を設けました。書類の未提出、提出遅延は少なくなりましたが、職員の仕事が優先され、利用者様への支援が職員の都合に合わせる事もあったため、従来の活動時間に戻しました。記録が遅延する支援員は、仕事量を減じました。

業務マニュアルや生活支援項目等を作成して、利用者様の支援を行っていますが、全体への周知徹底がなされていません。マニュアルに従えば防げた事故もありました。日々の生活や行動等に対する観察力を養えるよう、職員朝夕会、支援会議、研修会等で職員全体の意識を高め、障害特性の理解に努めることが今後の支援における課題となりました。

### 2. 支援内容報告

#### (1) 利用者様支援・入所支援

##### 1) 入退所報告

7月1日に入所した女性利用者様は、進行性の病気が悪化し、8月24日に入院、そのまま退所となりました。

10月1日に、それまで短期入所を利用していた女性1名が入所しました。

平成31年2月14日、男性利用者様が、女性利用者様とのトラブルがあり、そのほかでも集団生活に適さない行動が多く、改善は見込めないと判断し、保護者様と相談の上、退所となりました。

入所利用希望者に関しては、相談支援事業所より、入所の空き状況等の問い合わせがあり、その都度施設見学等を行っていただきました。無断外出や暴力行為など、集団生活が難しいと思われるケースが多く、受け入れ会議での検討や嘱託医の意見を受け、入所に結び付きませんでした。

## 2) 生活支援

毎週木曜日に、全利用者様に行っていた居室掃除、衣類確認、日用品整理といった生活支援の時間をより効率的、重点的に行えるよう、担当職員が利用者様の生活支援を行えるよう、個別の時間をもうけました。

利用者様が、生活環境を清潔に維持し、職員が利用者様の生活状況を確認するために、個別支援確認表を作成しました。これにより、支援内容がマニュアル化され、誰が行っても効率よく利用者様の支援を行えるようになりました。

毎月の散髪、買い物の計画を立て、身だしなみ、日用品不足が起きないように、努めました。

## 3) 生活訓練

個別での生活支援を通して、利用者様に掃除、衣類整理を行っていただき、DALの向上へ繋（つな）がっていけるよう支援を行いました。個別での生活支援を実施し、以前より職員が利用者様一人一人に支援を行えるようになりましたが、さらに改善が必要です。

衣類タンス、ロッカーの裏側、居室暖房機の隙間など、利用者様が普段行えていなかった場所を利用者様が今後一人でも掃除ができるように、掃除の仕方を教え、支援を行いました。

## 4) 日中活動

### ① 軽運動

各利用者様が具体的な目標に向けた活動内容を計画して、安全で無理のないよう、体力増進、維持を行いました。

毎月新しい活動を計画し、新しい刺激となるよう計画しましたが、プログラムを増やす事が出来ず、利用者様から、いつも同じでつまらないとの苦情が出ました。それでも毎週同じプログラムを繰り返している状況であり、支援員の認識不足が課題として表面化しています。

屋外散策は、事故、怪我のないよう可能な限り行いました。ドライブ外出は、年4回行い、気分転換を図りながら、外食や普段と違う景色を楽しんでいただきました。

### ② 生産活動

生産活動部門では、平均工賃、1,960円と昨年度より、470円下がりました。アルミ缶等の価格が安くなった事と参加利用者様の作業能力が低下して分別が遅れることが要因として考えられます。

利用者様の要望や能力にあった活動を提供しました。空き缶等の回収物に混入していた未開封の飲料水を飲んでしまう、作業工程を何度も説明するが、工程通りに行えない等の問題がある利用者様には、話し合っって別の活動へ取り組んでいただきました。

### ③ 創作活動

全国的障害児者生活サポート協会主催のアールブリュット作品展へ応募し、表情豊かな赤鬼の顔を描いた作品が入賞しました。

創作活動は、支援員の認識不足や指導力不足により、利用者様の個性を引き出し、作品とする事が出来ていません。

## (2) 健康管理

春期・秋期健康診断、歯科検診を行い、結果を保護者様へ郵送するとともに通院を行っています。

健康管理に努め、毎日のバイタルチェック、行動等の観察を行う事で早期発見や治療につなげました。感染予防として、一人一人職員と一緒に手洗いを行いました。体調に異常があれば、看護師、上司、家族への報告を行い、医療機関との連携を図りながら、迅速な対応に努めました。

活動場所や食事提供など感染予防マニュアルを活用し、対策を行う事で、インフルエンザ感染者は少数にとどまりました。

誤嚥事故や誤嚥性肺炎となった利用者様がいました。これは、日頃の観察不足と判断力、危機意識、介護力等職員の力量不足から発生したものと反省しています。申し送りや研修を通し、職員の意識を高め、利用者様の健康管理に努めました。

## (3) 食事介助等

利用者様の能力や状態に合わせた食事形態（刻み食、塩分やカロリー制限食）を提供しました。エプロンや自助食器の利用で、自ら食べる事ができるよう支援しています。

嚥下や咀嚼に問題のある利用者様には、食事形態や座席にも配慮しました。食事の挨拶やご飯、汁物の盛り付け方、テーブル拭き等のマナーについても支援しています。

高齢化により、咀嚼力や嚥下力の低下が懸念され、生活支援項目の見直しをして、職員の共通理解を図りましたが、周知には至っていません。

給食会議、支援会議等で改善点や問題点を話し合いました。インフルエンザ感染者が出た時は、食堂での感染を防ぐため、居住棟への配膳を行い、食事時間をずらすなどの対策を取り、感染拡大を防ぎました。

## 3. 建物・設備・備品等管理計画

### (1) 居住棟・寝具管理

7月、寝具一式の交換を行いました。包布交換は週に1回。汚れがある場合は随時行いました。必要に応じ、ベッドマットのクリーニングを行い、寝具を清潔に保ちました。トイレはトイレカーテンを定期的に洗い清潔を保ちました。トイレの詰まりやトイレットペーパー使いすぎ等には修繕とホルダーの交換を行い、快適に過ごしていただくように支援しました。

冬期はインフルエンザ予防として、共有スペース等に、空間除菌剤を入れた、超音波加湿器を設置し、居室内の除菌・消臭に努めました。その結果、感染を最小限に押さえることができました。

夏期、冬期の年2回の大掃除を行いました。生活支援として、居室掃除や不都合の有無を確認して住みやすい生活環境を提供しています。

### (2) 環境整備・廃棄物

4月に各事業の利用者様と施設周辺の草取りや落ち葉集め道路清掃を行いました。5月には、施設周辺にアリ駆除剤を散布し、畳の居室や職員の休憩室ではダニ駆除を行いました。

毎月処理したゴミを集計し、廃棄物重量報告を十和田地域広域事務組合へ提出しました。

### (3) ボイラー管理

11月に館内の暖房ボイラーを作動させました。異常が見られた時は、業者修理にて対応しました。

#### (4) 設備・修繕関係

施設備品の破損があった際は、係で修繕を行い、迅速に対応を行いました。係での修繕が不可能であった場合は、利用者様の生活に支障が出ないように、修理業者へ依頼、修理を行いました。

破損箇所がないか、常に施設内の確認を行い不備が見つかり次第即座に点検、修理を行いました。

#### (5) 清掃・環境整備・施設内衛生

毎週土曜日と日曜日は、利用者様とゴミ箱や共有スペースの丁寧掃除を行いました。食堂は職員が毎食後テーブルや椅子の消毒、床掃除を行いました。利用者様が誤飲しないように、床に落ちているゴミは拾い、清潔と安全に努めました。

各棟から出たゴミを洗濯場脇に設置されているジャンボペールにまとめる際は、ゴミを一つにまとめ、ゴミ袋の使用量削減を行っています。

夏の大掃除は、7月～8月の予定で行いしましたが、終了したのが9月になってしまいました。冬の大掃除は12月に行いました。点検表に掃除場所を記載したカレンダーを追加して、掃除日を確認しやすくして期間内の掃除完了を目指しましたが、掃除期間内より1週間程遅く終了しました。

#### 4. 年間行事

利用者様忘年会 12月6日

きざん三沢にて利用者様忘年回開催しました。誤嚥防止のため、栄養士、きざん三沢担当者と打ち合わせを行い、食事提供を行いました。余興では、各事業所の利用者様によるダンス、楽器演奏、合唱等趣向をした出し物を披露し、盛り上がりました。

#### 5. 研修計画

施設内でスキルアップ研修を定期的に行い、基礎知識の習得、支援技術の向上に努めました。

4月	事業計画書の読み合わせと確認
5月	障害福祉サービスの種類と内容、業務マニュアル確認
6月	熱中症の予防と対策、業務マニュアル確認
7月	生活習慣病について
8月	虐待防止について（ビデオ鑑賞）
9月	利用者様の食形態、嚥下障害に適す食品、適さない食品について
10月	研修報告（虐待防止法について）
11月	研修報告（支援記録について）
12月	入浴事故の緊急時対応について
1月	入浴事故の緊急時対応について
2月	個別支援計画作成について（講師：宇恵野 晋氏）
3月	誤嚥について

## 短期入所事業

### 1. 利用状況

短期入所		4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
定員2	延人(人)	12	8	18	29	19	21	107
	平均(人)	0.4	0.25	0.6	0.93	0.61	0.7	0.58
	利用率(%)	20	13	30	46	30	35	28
短期入所		10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
定員2	延人数(人)	4	5	6	4	2	4	132
	平均(人)	0.13	0.17	0.19	0.12	0.07	0.13	0.73
	利用率(%)	6	8	10.0	6	4	6	36

### 2. 年度重点目標報告

利用者様が短期入所をされた時は、事故、怪我をする事がなく、過ごせるようにしました。施設内でインフルエンザが発生時には連絡し、健康面の配慮にも努めました。利用人数は減少となりましたが、短期入所の要望には、対応する事ができました。

短期入所利用者様の衣類の紛失や返し忘れが続いたため、ランドリーネットを利用して選択する事にしました。これにより、利用者様の衣類の紛失を防止していきます。

利用者様の所持品確認を支援員2人で確認する体制にして、確実にいき、紛失、返し忘れがないようにしています。

## 日中一時支援事業

### 1. 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
人数(人)	0	1	1	1	3	0	6
実人数(人)	0	1	1	1	3	0	6
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数(人)	1	1	1	1	1	1	12
実人数(人)	1	1	1	1	1	1	12

### 2. 年度重点目標報告

日中一時支援利用の依頼は、断る事なく受け入れました。利用者様のご家族の就労及び障害のある方を日常的に介護しているご家族の、一時的な休息を確保する事ができたと思います。また、事故、怪我等無く、過ごす事ができました。

保護者様との情報共有を行い、利用者様に事故、怪我のないよう安全管理に努めていきます。

## 就労継続支援B型事業所 わいわい

### 1. 年度重点目標の達成状況

5月に1名、8月に2名の方が利用を開始しました。1月には1名が事業所移動のため退所し、1名の方が利用を始めました。定員20名に対して、登録者数は、15名となりましたが、体調不良等で欠席する日が出て、目標とした平均工賃15,000円を達成できませんでした。

年度途中から惣菜や乾燥椎茸をキッチンカーにて販売を再開しました。曜日毎に数カ所の販売場所で利用者様と一緒に販売へ出掛けています。当初、製造と販売を1人の職員が行っていましたが、効率が悪いので、途中からは惣菜製造と菓子製造の職員を雇い入れ、それぞれ専門に製造し、販売は別な職員が利用者様と行う事にしました。惣菜も菓子も評判が良く、安定した売り上げを上げてきています。

「レストラン味彩亭」は、食堂内や厨房内の清掃をしていた利用者様が体調を崩し、しばらく休む事となりました。もう1人が食堂の掃除を職員と行っています。利用者獲得のため、味彩亭用のパンフレットを作り、関係機関に配布しましたが、問い合わせはあっても利用までは、至っていません。

作業種目は多くあり、利用者様の能力や希望に応じた作業を提供できるという利点があります。資金がかかる椎茸栽培作業等は、作業としては採算が見合わない状況にあります。作業種目や取り組み方の見直しを行い工賃の増額を図っていきます。

### 2. 利用者様支援

#### (1) 就労継続支援

##### 1) 椎茸栽培加工事業

前年度植菌を行った椋木の管理として、5月から9月中旬までハウス屋根ビニールを外し、高温状態を防ぐ対策を取りながら行いました。

7月以降は、ハウス内で天地返しを行い、刺激を与えより一層の椋木促進や均一化を図ってきました。

9月下旬より、新ホダ木の発生状況を確認しながら展開しました。

高中温性と中温性の菌の椋木管理は、通年ハウス内で温度湿度を調整しながら管理の徹底を図りました。発生状況で、7月以降の高温対策、11月下旬以降の低温対策をするも、菌の生育が止まり発生に影響が出てしまいました。

利用者様には、椋木運び、収穫、石づき切り、エア一掛け、製品化の作業に携わっていただきました。

椎茸製品は、より良い製品を提供するため、各支援者の判断に委ねていた大きさの基準を統一して、製品化を行いました。規格化により、10月からは、生椎茸と乾燥椎茸の価格改定を行いました。

##### 2) 園芸・畑作事業

地域の小学校や保育園、幼稚園よりアザレア（西洋ツツジ）の注文を受け、苗木を購入して11月上旬より育成を開始しました。利用者様は鉢への移植、灌水、鉢拭きを行いました。ハウスでの温度管理を徹底し、経費の削減に努めました。

開花状況は良好でしたが、一部寒気にふれ、花びらが凍る影響を受けました。予備で対応しました。

3月からの配達は、開花状態の注文に合わせた配達ができ、無事終える事ができました。注文以外の花は、ゆ〜らくえんで販売しました。

##### 3) 販売事業

食品加工事業と販売事業を統合し、8月中旬より、レストラン「味彩亭」や企業を販売先として、利用者様とともに惣菜やデザートの販売を開始しました。12月上旬より数ヶ月間、販売を見合わせていましたが、3月より生活介護事業所わくわく前を販路先に加え、販売を再開しました。

①地域出店

のぞみ園祭 平成30年 6月10日(日) 10:00~15:00
販売品: 各種干し椎茸、天ぷら5点盛り
ガーデンフェスティバル2018 平成30年 8月25日(土) 11:00~14:00
販売品: 各種干し椎茸、切干大根、ポテト、かき氷、串焼き、飲料水
第1回松緑福祉会感謝祭(かけはし寮) 平成30年9月2日(日) 10:00~14:30
販売品: 各種干し椎茸、トルネードウィンナー、ストラップ製品
おいらせ町秋の農業まつり 平成30年10月21日(日) 9:00~14:30
販売品: 生椎茸、各種干し椎茸、切干大根、唐揚げ、パラタ、飲料水
第26回北公民館文化祭 平成30年11月3日(土)4日(日) 9:00~15:30
販売品: 生椎茸、各種干し椎茸、切干大根、唐揚げ、肉まんあんまん、パラタ、飲料水
三沢航空祭 平成30年9月11日(日) 9:00~15:00(イベント時間)
販売品: 唐揚げ焼きそば、焼きそば、唐揚げ、スパゲッティー、お好み焼き、パラタ、飲料水
三者面談会 平成30年 9月22日(土) 10:00~14:00
販売品: 生椎茸、各種干し椎茸、切干大根、チュロス、炊き込みご飯、豚汁、蒸しパン レアチーズ、マンゴープリン、唐揚げ、パラタ、お好み焼き、缶コーヒー
昭壽会 歳末大感謝祭 平成30年12月15日(土) 10:30~14:00
販売品: 生椎茸、各種干し椎茸、切干大根、焼きそば、アメリカンドック、揚げタコ、唐揚げ 肉まんあんまん、焼き鳥、コーヒー、フライドポテト、カレーパン、蒸しパン パラタ、マンゴープリン、あんドーナツ、炊き込みご飯、飲料水
第13回社会福祉大会 平成31年2月9日(土) 12:00~15:45
販売品: 各種干し椎茸、切干大根、唐揚げ、蒸しパン、あんドーナツ、カレーパン、飲料水



②地域行事売り上げ状況 単位：円

行事名	施設製品販売額	食品調理等販売額	合計
のぞみ園祭	7,500	10,260	17,760
ガーデンフェスティバル2018	0	6,270	6,270
松緑福祉社会感謝祭	5,960	3,640	9,600
おいらせ町秋の農業まつり	33,700	12,020	45,720
第26回北公民館文化祭	8,610	18,880	27,490
航空祭	200,550	200,550	401,100
三者面談会	19,380	39,100	58,480
冬感謝祭		89,430	89,430
第13回社会福祉大会	12,060	8,680	20,740

アイスクリーム販売では、7月に万引きを防ぐ対策を講じてから、激的に減りました。

4) 委託事業部門

あかしや寮の掃除を週5日3時間、利用者2名にて職員が付き添い行っています。2月より職員と利用者様各1名ずつに体制を換え、清掃マニュアルを作成し、業務を実施しています。

5) 飲食店事業

4月迄は、一日をかけ、レストラン「味彩亭」の清掃、配膳車消毒、トレーセット、厨房内の清掃などを行っていました。5月より、午後だけで全行程を終了出来るようになりました。

5月中旬より、利用者様が体調不良により入院したため、一旦休む事となりました。

8月から週5日2時間、利用者様と一緒に食堂内掃除を行い、食堂の清潔保持に努めました。利用者様の勧誘を行っていますが、調理作業に参加できる利用者様の確保にはいたっていません。

(2) 生活支援

事業所では、昼食後の服薬管理や軟膏塗布などが困難な利用者様への支援を行いました。歯科検診時、ブラッシング確認を行いました。

(3) 就労支援

あかしや領内の清掃業務とレストラン「味彩亭」の厨房や食堂内掃除を実施しています。いずれの現場においても、一般企業への就職にはつながっていません。

(4) 相談及び援助

利用者様より、職員が腰に手をあて利用者様へ指示を出すような態度に関しての指摘事項が、担当相談支

援員へありました。担当相談支援員、管理者、現場責任者とともに検証を行いました。その後、わいわい職員一同、利用者様への振る舞いや言葉遣いなどの姿勢を改め努めました。

#### (5) 食事の提供

メニューボードに献立を分かり易く記載する工夫をしました。あかしや寮厨房で調理した食品を事業所内の厨房で盛り付け、適温で利用者様に提供しました。看護師と連携し、食事量の調節などを行い、利用者様の体重管理に努めました。

#### (6) 健康管理

利用者様の健康状況を朝の自治会のミーティング時に確認し、異常が確認出来た際は、医務と連携し早急に対応しました。

活動終了時に必ず、手洗いの徹底に努めました。利用者様は、自発的に行う事が出来ていました。5月と11月に健康診断実施、7月と2月に歯科検診実施しました。その後、検査結果を渡しました。

毎月、体重測定実施しました。

### 3. 建物・設備・備品等管理

5月と6月に新ホダ木のハウスの天幕ビニールを剥ぎ、遮光幕を掛け、ハウス内環境を椎茸菌活着のため整えました。

7月と12月に事業所内大掃除、環境整備を実施しました。11月にハウス天幕ビニール張りと遮光幕を剥がし、各ハウスの裂けた箇所テープ補修を実施しました。

### 4. 年間行事計画

5月29日	自然散策・ボーリング大会を実施しました。
1月 1日	初詣を実施しました。

### 5. 研修

4月	昭壽会の各事業について
8月	虐待防止について
11月	研修報告 支援記録について
2月	個別支援計画作成について（外部講師：宇恵野晋氏）

# 生活介護事業所 わくわく

## 1. 利用者様の状況

### 1) 渉外支援区分

## 2. 年度重点目標報告（総括）

利用者様は定員の10人となりましたが、長期療養されている利用者様やその日の状態で休む利用者様がいるため、利用率は向上していません。特別支援学校や相談支援事業所との連携を強化し、利用者様の確保と利用率の向上が課題となります。

利用者様が楽しく、安全に活動が出来るように、職員の支援に対する技術と知識の習得を目指しましたが、十分な結果を得られていません。

日中活動のプログラムは、利用者様にやりたい希望を聞いて、活動の提供を行いました。個々の能力が最大限に引き出されているかは再度見直しを行っています。

## 2. 利用者様支援内容

### (1) 生活支援

音楽活動や調理活動等は、利用者様が楽しみにしている活動であり、季節に合わせた歌を歌いました。調理活動では、準備や片付けなどは、各自が出来ることを行い、全員が協力して調理し、会話をしながら会食しました。

事業所前の花壇に、チューリップや水仙などを植え、畑にはクワイモを植えました。水やりや草取り等の手入れに汗を流し、クワイモの収穫も利用者様全員で行い、「疲れた」と話しながらも収穫の喜びを分かち合いました。

高齢の利用者様もおり、膝や腰に持病や体力低下があり、筋力アップのため体幹運動を取り入れて行いました。排泄の声掛けを行い、排泄後は清拭し、清潔保持に努めました。

### (2) 生活訓練

昼食後の歯磨きは、十分に磨けない利用者様に対して、利用者様が自力で磨いた後、再度磨き直し支援を行っています。多くの利用者様は、きれいに磨けるようになってきました。

入浴時の着替えや道具の準備、入浴後の片付けは、利用者様自ら行う事が出来ていました。利用者様が洗髪や洗体を一通り行い、お尻や脚の後ろは洗い残しが多く見られ再度洗うよう声掛けを行い、その後職員が不十分なところを支援しました。

### (3) 創作活動

合同の作品作りでは、季節感を取り入れ、春は「菜の花畑」、夏は「わくわく花火大会」、秋は「コスモス畑」、冬は「正月飾り・絵馬」の4作品を制作しました。

他に、絵の具とフォークで「芸術は爆発だー」、牛乳パックで「未完成わくわく ファミリア(サグラダファミリア)」の2作品を制作しました。作品は1階玄関展示スペースに飾りました。

利用者様個々の作品は、Art to You! 東北障がい者芸術公募展に12作品応募しましたが、入選作品はありませんでした。

### (4) 食事の提供

利用者様に合わせて、刻み食等の食事提供を行いました。デザートは、2、3種類から選ぶことが出来るよう用意されていました。行事食や季節の食材が使われ、温かい物は温かく提供される食事は、皆さん「おいしい」と言っていました。

### (5) 健康管理

利用者様のバイタル測定を毎朝行い、健康状態の異変に迅速に対応し、重症化を防ぐ事ができました。事業所内の環境衛生に留意し、施設内感染を防ぐ事ができました。

毎月の体重測定や腹囲測定を行った結果、1年を通してほぼ変動なく疾病も変化ありませんでした。利用者様の傾向として、体重過多、筋力低下が見られるため。体幹運動を取り入れました。

感染症疾患の予防と対応や、持病がある利用者様についてのスキルアップ研修を行い、職員の基礎知識や技術の習得に努めました。

### 3. 建物・設備・備品等管理計画

エレベーターの定期点検で、ドアの開閉不備があり。部品交換しました。

特殊浴槽は、2月に浴槽の扉が閉まらなくなり、修理をしましたが、3月には扉が動かなくなり、部品交換しました。

1階のトイレは、2月に水の流れが悪く詰まっているような状況が見られ、点検を依頼すると配管の破損が原因と判明しました。貸主に修理を依頼していますが、未着工です。

### 4. 年間行事計画等

4月	今年度も頑張る会 利用者様の頑張りたいことを発表しました。
5月	お花見会
7月	七夕
9月	音楽活動発表会
10月	地域探検「下田駅を見学」
11月	事業所参観デー
12月	法人事業所合同忘年会
2月	わくわく開設記念会
3月	ひな祭りなどと節句のお祝い

### 5. 研修

月	研修内容	担当
10月	感染症疾患の予防と対策	三浦
12月	障害者虐待防止法について	三浦
2月	リスクマネジメントについて	三浦
2月	個別支援計画書の作成について	宇恵野 晋

# 共同生活援助事業所（グループホーム） すみれハイツ

## 1. 年度重点目標報告

男性用住居は、4月に1名入居者様が増えました。女性用住居は新規の入居者様はありませんでした。利用定員に達していない状況ですが、世話人、生活支援員が不足しているため、入居者を増やす事が出来ない状況にあります。

世話人と支援員の情報共有のため、10月より定期的に連絡会議を行いました。入居者様の現在の状況や個別支援計画の目標、支援方法などを共通理解し、入居者様へ統一した支援を行えるよう努めました。

女性入居者様1名に認知症状が見られ、グループホームや日中利用している事業所で、失禁が多く、指示と違う行動が多くなっています。本人様の今後について、御家族と話し合い、介護保険サービスへ移行する事となりました。

入居者様の平均年齢は男性が56歳、女性が46歳となっており、最高年齢は71歳と高齢化が進んでいます。認知症状も徐々に進行している入居者様もいます。入居者様が安心して、地域で生活できるために、世話人、支援員で入居者様の情報共有に努め、状況に応じた支援を行う必要があります。

## 2. 支援内容

### (1) 生活支援

入浴支援、生活費の確認などの支援を定期的に行いました。世話人との情報共有に努め、本人様の出来る所、出来なくなってきている事を随時把握し、不十分である部分を支援しました。

### (2) 生活訓練

衣類整理、居室掃除、洗濯の干し方確認などを入居者様と一緒に行いました。休日を利用し、浴室や玄関などの掃除も一緒に行いました。

### (3) 地域生活援助

地域の清掃活動や祭り行事に参加し、地域の皆様との交流を深めました。定期的に外食へ出かけたり、買い物付き添い支援を行う中で、社会生活でのルール、マナーについて支援を行いました。

近隣地域の祭を見学し、催し物を楽しみました。

### (4) 健康管理

高血圧の入居者様は朝・夕に血圧測定を行いました。また、異常が見られた際はあかしや寮にて対応しました。今年度はインフルエンザ発病者はいませんでした。

### (5) 食事の提供

世話人と連携し、季節感を取り入れた食事の提供に努めました。

## 3. 建物・設備・備品等管理計画

入居者様、支援員、世話人が協力して、草刈りや排水溝の掃除、除雪などを行いました。休日には建物内の丁寧掃除を行いました。不具合が見られた際は業者修理にて対応しました。

## 相談支援事業所 あかしや寮

### 1. 年度重点目標報告

障害を持つ方の地域生活や社会生活が出来るように、サービス等利用計画の作成を行いました。本人、御家族と面会を行い、お話を聞く事でニーズを把握し、利用者主体の相談支援を実施しました。また、事業所への訪問、聞き取りを行い利用者の生活の質が向上するように努めました。新たな障害福祉の政策にも対応できるように、研修へも積極的に参加しました。

平成31年3月31日現在の相談支援契約者数は、75名です。特定相談支援対象者は、69名、障害児相談支援対象者は6名となっています。

新規契約者15名、契約終了者は8名でした。

モニタリング報告書、サービス等利用計画の提出の遅れがないよう、各利用者のモニタリング日を確認し、早めの連絡調整、作成業務を行っていきます。

### 2. 相談支援状況

一般相談は0件でした。特定相談支援事業は、関係機関等との連携を図りながら、おいらせ町、八戸市、三沢市、七戸町、東北町、六戸町在住の障害者（児）及び保護者から、電話、訪問、同行、来所等による相談を実施しました。

サービス等利用計画、モニタリング報告書の作成を行いました。

あかしや寮への入所希望者が多数あり、施設見学にて対応しました。

### 3. 計画相談実績

#### (1) 計画相談作成及びモニタリング件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
計画作成	1	1	13	1	1	1	1	1	2	0	1	1	24
モニタリング	2	9	23	5	1	4	4	8	19	9	7	12	103
合計	3	10	36	6	2	5	5	9	21	9	8	13	127

#### (2) 障害児計画相談作成件数及びモニタリング件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
計画作成	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
モニタリング	0	0	7	0	0	0	0	0	0	6	0	0	13
合計	0	0	14	0	0	0	0	0	0	6	0	0	20

#### (3) 計画相談以外(地域等からの相談)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	1	1	7	2	0	1	1	2	3	2	1	0	21

# 放課後等デイサービス キッズハウス ピッピ

## 1. 年度重点目標報告

障害のある児童に、自分らしく生き生きと地域で生活していく力を身につけるため、法人が蓄積してきた障害者福祉サービスの技術と知識を地域に還元するために開設しました。

地域のニーズ把握と、事業所の周知を図るために、近隣の市町村の福祉担当課、子育て支援センター、特別支援学校、支援学級のある小学校25校、中学校15校、相談支援事業所26事業所を訪問して、開設の挨拶を行い、パンフレットを配布しました。

開設後は、7名の方が見学に来られ、4名の契約数と定員を大きく下回っている状況です。利用している児童の障害程度、発達の違いはありますが、通学している学校の担任教諭、保護者様、担当相談支援専門員との連携を図り、個別支援計画書に基づきながら支援を行いました。

ピッピの建物は、平屋住宅の造りであり、プレイルームの壁には、無垢材を使用し、芝生の庭もあり、一般住宅のような環境です。利用者様、保護者様は「普通のお家みたいだね」と言って下さいます。自宅にいるような雰囲気を保ちながら、利用者様が安心して、「ピッピ」での時間を過ごせるように支援を行いました。

定員10名に対し、4名の契約となっており、稼働率が低いため、関係機関に再度広報を行い、増員に努めていきます。

## 2. 支援活動状況

### (1) 生活面

来所時に脱いだ靴を揃える、手洗い・うがい、カバン・上着の片付け等は、自分で出来る事は自分で行うことを声掛けしています。

言葉だけではなく、本人様が目で見て分かるように、手洗いの順番、カバンを納める場所等には絵カードを使い、視覚的支援をして、本人様の自発的な行動を促すようにしました。

利用当初は、来所後すぐに玄関にカバンを置き活動を始めていた利用者様も、自発的にカバンを片付けることが出来るようになってきました。

### (2) 対人・社会面

毎日の活動を通して、集団のルール、マナーを身に付けられるように支援を行いました。昼食はあかしや寮の食堂で食べることにより、年長者と交流する良い機会になっています。近所のコンビニに おやつを購入に出掛け、支払いを自分で行っています。

同じ学校に通う利用者様達は、仲が良く関係も良好ですが、他の利用者様に対して、差別的な発言が目立ちました。皆ピッピの友達として、関係性を構築する事が今後の課題となります。

### (3) 運動面

屋内では、バランスボール運動、柔軟体操を主に行っています。屋外では、サッカー、敷地の散策を行っています。冬期間は、雪遊びを行いながら体力の向上を図り、生活の中でストレスの発散が出来るように支援を行いました。

屋外での運動は、利用者様は活発に動き回り、天候が思わしくない日でも、「外で遊びたい」と要望が聞かれていました。

#### (4) 創作活動

利用者様の希望を取り入れながら、読み聞かせ、絵画、工作、調理実習を行いました。

読み聞かせは、利用者様が食い入るように挿絵を見ながら聞いていました。読み終わった後で、振り返りを行い、物語の主人公の気持ちを考え、自分に置き換える事で想像性、思いやりの気持ちを養う事が出来るよう支援を行いました。

絵画、工作では、材料の準備を行い、最低限の支援だけ行い、自由な表現が出来る機会としました。出来ないことを利用者様同士で助け合うなど、ほほ笑ましい姿も見られていました。

調理実習では、簡単なおやつ作りを行いました、材料を混ぜる、ひっくり返す等簡単な作業ですが、出来上がったおやつは「美味しい」と言いながら食べ、満足している様子でした。

#### (5) スキルアップ研修

開催月	研 修	内 容
10月	岩手県内先進施設見学	管理者、他職員4名にて岩手県の放課後等デイサービス事業所見学し今後の方向性、環境設定のヒントを頂きました。
10月	私の中の福祉感構想	福祉職に従事する人の心の育て方、自己成長の仕方を学びました。
11月	報告・指示の受け方	報告、指示の仕方、タイミング等を学びました。
12月	脳卒中について	脳卒中発症時の対応、高齢者の入浴で気をつける事を学びました。
2月	個別支援計画書の作成	外部講師を招き法人全体での研修。 個別支援計画書の基本、利用者様主体の考え方等を学びとても意義のある研修でした。